



12月1日は世界エイズデー



UNAIDS（国連合同エイズ計画）は「2030年までにエイズの流行を終わらせる」ことを目標にしています。今年のテーマ「**HIV/エイズ、知ることからもう一度**」は、正しい知識を広めて偏見をなくしていこうというメッセージです。

大学生として最新の知識を身に付け、エイズに関する誤解をなくすることが大切です。

HIV/エイズとは

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染が原因で、発症したのが**AIDS**（後天性免疫不全症候群）です。HIVに感染しても、すぐにエイズ（AIDS）になるわけではありません。

現在では治療薬が進歩し、服薬によりエイズの発症を防ぐことができます。

さらに、「**U=U**」（検出できない=感染しない）という考え方も広まっており、治療でウイルスが検出されない状態だと、性行為で他の人に感染させることもありません。



感染経路

HIV感染の経路は3つです。

1.性行為による感染

日本ではこれが最も多く、性器や肛門、口の粘膜や傷口を通じて感染します。

「精液が出る前の粘液」「精液」「膣分泌液」などにウイルスが含まれています。

2.血液を介した感染

感染した血液の輸血や、注射器の使い回しなどで感染が広がります。

汚染された器具で開けた「ボディピアス・タトゥー」からの感染も報告されています。

3.母子感染

HIV陽性の母親から、妊娠中や出産時、授乳を通じて赤ちゃんに感染することがあります。

HIV感染を予防するには

HIV感染の主な経路は性行為です。

「コンドームは責任ある性行為に不可欠なもの」です。

不定期のコンドーム使用は感染予防になりません。



コンドームはHIVだけでなく、さまざまな性感染症（STI）も防いでくれます。

最近、若者の中でSTIの感染が増えています。

早めに検査し、パートナーと同時に治療をしてください。

梅毒の感染増加が止まりません！

梅毒の感染が近年急増しており、特に男性は20～50代、女性は20代で増加が目立っています。

性行為の後にいつもと違う症状が出たら、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

梅毒検査は保健所で無料かつ匿名で受けることができるので、気軽に相談してください。

早期発見と治療が大切です。